

# 若手職員 座談会 (R6年 Vol.1)

採用2年目から5年目までの厚生労働事務官(基準)、(安定)による座談会を開催いたしました!

## ▶ 兵庫労働局を選んだ理由

**坂元** いくつかの官庁、市役所を見た中で、中の人々の雰囲気が一番自分に合うと感じたからです。実際働いてみて、就活してたときの感覚は間違っていなかったと思っています。

**濱名** 地元で働きたかったのですが、県外への転勤がなく、兵庫県で働ける労働局を見つけて、魅力的に感じたので選びました。

**中村** 私も、転居を伴う異動が少ないという点を魅力に感じました。また、身近な人が転職活動をしていた時に、一緒に仕事探しをしてみたいと感じたので選びました。

**水原** 数々の説明会に行く中で、窓口業務がメインという点が特殊だと感じました。人と接しながら仕事ができることに惹かれて選びました。

**長井** 実は、私も身近な人が転職活動をしていて…、自分も就職支援をしてみたいと思っていました。また、自身が学生の時に新卒応援ハローワークでお世話になっていたのも、こういう仕事もいいなと思ったこともきっかけの一つでした。

**今城** 私は入職前に勤めていた経験があります。その時に、仕事が原因で精神的に病んでしまう方や悩んでいる方が沢山いることを実感していました。国の機関、セーフティネットとして、そういった人々を救済できる仕事を調べる中で、労働局を見つけました。また、色々な局を見た中で兵庫局は特に雰囲気が優しい方が多く、一緒に働きたいと感じて選びました。

**岸本** いろんな官庁を回る中で、業務説明会などでの雰囲気が一番良くて、働きやすそうだと感じて選びました。

**亀井** 大学で労働法のゼミに入っていて、労働局の業務に興味をもちました。いくつかの労働局の説明会に参加して比べてみた結果、特に印象が良く、兵庫局で働いてみたいと感じました。



## ▶ 兵庫労働局で働いて一番良かったと思うこと

**亀井** 皆さん優しいので、どれだけ忙しくても聞いたら答えてくれます。また、特に基準系は自分のペース、裁量で仕事ができるので、休みが取りやすいことです。

**岸本** 私にも上司、先輩方など優しく業務を教えてくれる方が多いことです。楽しい方が多いと思います。

**長井** 皆さんと一緒に人間関係が良い点です。特に入職したての頃は心強い上司がいて精神的に支えられました。

**水原** 窓口だけではなく色々な仕事がある所です。私は企画課という所で、HPの編集作業等をしていたこともありましたが、そういった仕事も自分に合うと感じ、新たな自分も発見できました。



**中村** 相談者と喜びを共有できるという点です。就職に結びついた支援者から感謝の手紙をもらったこともありましたが、自分のこと以上に嬉しくなりました。あと、問題解決能力がついたことも良かったと思います。給付課や職業相談部門などで色々な相談に対応することで、どう対応するべきか、解決するべきか考える力がつきました。



**濱名** 私は休みやすさです。1時間単位で有給休暇を取得できるのでちょっとした用事の時も便利です。上司の方々も長期で休みを取っているのを見るので、自分自身も休みやすいです。

**坂元** 監督署では労災補償業務にて色々な労働者全般と関わることができ、色々な仕事、環境があることを知ることができます。今まで関わってこなかった方々との関わりから自分の視野を広げることができて良いです。

▶ 安定・基準を選択した決め手は

▶ 入局前後で印象が変わったこと

- 岸本** 公務員は固いイメージがありましたが、雑談をする場面もあって、予想以上に柔らかい雰囲気だったことです。正直怖い人が多いのかと思っていました。
- 今城** 私も、固い方が多いイメージでしたが実際にはフランクで気さくな方ばかりです。服装も比較的自由だったのが意外でした。
- 長井** 業務の幅が広い所です。仕事を探すだけでも、障害をお持ちの方や子育て中の方…と対象者によって、支援の仕方も異なります。あと、異動があるごとに一から学ばないといけないのかなと思っていましたが点が線になる感覚で業務が繋がっているという印象が変わりました。確実にレベルアップしていくことができます。
- 水原** 外の組織とつながりがあることです。兵庫労働局の中で完結するのではなく、市や関連団体と連携するなど、思ったより柔軟に色々な活動をしている点です。
- 中村** 職業相談部門でも相談業務に固定されているわけではない所です。私は、なかなかハローワークに足を運ぶことができない方々のために、チラシを作ったり、HPに求人を出したり…自分でアイデアを数多く出しています。仕事を生み出して、実現していくことができます。
- 濱名** 私も自ら色々提案できる点が意外に思いました。セミナーの実施であったり、レイアウト変更であったり積極的に聞き入れてもらっています。
- 坂元** 労災認定については、基準に照らして判断していくこととなりますが、基準に当てはめようがないことも中にはあります。そんな時、かつての事案を検討材料にしたり、上司と相談したりしながら進めていくのですが、決まり切った基準だけでなく、ケースごとに柔軟に対応できる、という点がイメージとは違っていました。

- 坂元 (基準)** 身近な人が看護師をしていて、医学的なものに昔から興味がありました。基準系統のメイン業務である労災補償には、医学的な知識が関係してくると知って、選びました。
- 濱名 (安定)** もともと大学では理系を専攻していて、実験ばかり、狭いコミュニティで黙々と作業することに息苦しさを感じていました。たからこそ、色々な人と接する仕事をしたいと思いました。安定系統だったらハローワークで窓口対応があって、自分に合うのではないかなと思い選びました。
- 中村 (安定)** ハローワークの業務に興味があったので一切悩まず、安定系統を選びました。相談をやっていく中では話す力より聞く力のほうが大事なのではないかなと私は思います。話を聞くのが好きなので窓口業務は自分に合うと思いました。
- 水原 (安定)** 基準はデスクワークのイメージ、安定は窓口メインのイメージがありました。人と接して、人の話を聞くことが好きだったので、安定系統を選びました。
- 長井 (安定)** もともとアルバイトでは、接客をしていて人と話をするのが好きだったし、窓口で色々な人に対応できるという点が自分に合うと思いました。また、仕事探しでその人に密着できる、寄り添うことができるというのも魅力的でした。
- 今城 (基準)** 精神事案の調査に興味があったので、最初から基準系統と決めていました。また、説明会で、基準系統は調査する事案の担当が決まっているので自分の裁量で仕事がしやすいと聞き、自分に合うと思いました。
- 岸本 (基準)** 医療的な知識を使うのが楽しそうだと思い選びました。また、ハローワークでの業務と比較してみて、基準系統の業務により興味が湧いたので選びました。
- 亀井 (基準)** 大学で労働法を学んでいたもので、どちらかという基準系統のほうが活かせるかと思い選びました。

▶ 入局して感じた各行政の魅力

- 亀井 (基準)** 労災認定では、机上だけでなく、事業所によって災害現場をみたり 基準系統の職員でないといけないと見ることができないような工場の中を見ることができます。また、県外への出張があるなど活発なところです。
- 長井 (安定)** 仕事探しの力になることができるなど、困っている方に対してその方の未来の手助けに貢献できるということです。



- 水原 (雇用環境・均等)** 働き方改革、職場環境の改善などに取り組みます。労働者のために働きかけることで、会社にとってもメリットを生み出すこととなります。例えば、人手不足の会社で人が集まったり、会社に今いる従業員をより活かすことができたりと。双方のことを考えながら取り組めることが魅力です。
- 中村 (安定)** ハローワークにおける職業相談では、求職者を就職に結びつけるために、密着して支えることができます。また就職するという喜びを共有することも魅力です。
- 濱名 (安定)** 人生のターニングポイント、職業選択に携わることができるところです。就職が決まったら泣きながら報告して下さる方もいて、この仕事をやっていてよかったなと感じることがあります。
- 坂元 (基準)** 労災・けがの補償の際には、“助かった”と感謝されます。また、労働保険の徴収業務についても、保険料の適正な運用があってこそその労働行政だと思っているので、そういった大事な根幹を担っていることも魅力の一つに感じています。

▶ 受験生に対して一言！！

- 坂元** 新卒の方は特に、分からないことだらけで働くことへの具体的なビジョンも明確でないかもしれません。ただ、兵庫労働局に入ったらここにしておよかったなと思えると思います！
- 濱名** 無理せずに乗り切ってほしいと思います。あわよくば兵庫労働局に入職していただければと思います！
- 中村** 試験勉強など無理せず頑張ってください。入っていただけたらぜひ人としても職員としても一緒に成長していきましょう！
- 水原** 就職活動は大変だと思うけど40年以上働くことになるかもしれない職場なので色々なところを見てできるだけ自分に合った職場を選んでいただけたらと思います。また、その上で兵庫労働局を選んでいただけたら嬉しいです。
- 長井** 周りに支えられて、毎日楽しく業務ができています。入った後の心配はしなくも大丈夫です。将来の選択肢の一つとして労働局も考えていただけたら嬉しいです！
- 今城** 一口に公務員といっても色々な種類があります。自治体や国家公務員も、ましてや労働局でも都道府県によって違います。民間も含めて、色々なところを見た上で自分の肌に合うところを選んでいただけたらと思います！また、その上で兵庫労働局を選んでもらえたらと思います！
- 岸本** 試験対策などしんどいこともあるかと思いますが、自分の肌に合いそうなところを見つけてもらえたらと思います。
- 亀井** 公務員試験は、民間と比べて内定ができるのも遅くて不安とか焦りもあると思いますが、妥協せず頑張っていただけたらと思います。そして、兵庫労働局を選んでいただけたら嬉しいです。



● 参加職員

(基準系統の厚生労働事務官)  
総務部総務課 : 坂元  
労働基準部労災補償課 : 亀井  
労働基準部労災補償課 : 今城  
姫路労働基準監督署 : 岸本

(安定系統の厚生労働事務官)  
神戸公共職業安定所 : 水原  
尼崎公共職業安定所 : 濱名  
姫路公共職業安定所 : 長井  
伊丹公共職業安定所 : 中村